

# 2023年3月期 第1四半期 決算説明資料



モビリティ領域のDX推進



データ×AI技術で収益拡大



2022年7月29日  
(決算説明会2022年8月3日)

# 目次

---

## トップページ

P.3 …経営理念・会社概要

P.4 …プロトコーポレーションの特徴

---

## 業績サマリ

P.6 …2023年3月期 第1四半期 エグゼクティブサマリ

P.7 …セグメント別PL 2023年3月期 第1四半期

P.8 …セグメント別 売上高総利益率、営業利益率の推移

P.9 …2023年3月期 第1四半期業績の概要

P.10 …2023年3月期 業績予想

P.11 …セグメント別PL 2023年3月期 業績予想

---

## 堅調なプラットフォーム事業

P.13～P.16 …中古車・整備・新車領域の進捗について

P.17～P.18 …中期成長戦略 モビリティ領域のDX推進

---

## Appendix

P.20～P.25 …各種業績指標等

P.26～P.27 …新セグメントの詳細

---

## 経営理念

# データを未来の知恵に変え 「夢と感動 楽しい！」で社会に貢献する

### 会社概要

設立	1979年6月1日
事業内容	モビリティ関連情報の提供 モビリティ領域のDX推進
本社	愛知県名古屋市中区・東京都新宿区西新宿
取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場 証券コード：4298



代表取締役社長

神谷 健司

1990年に新卒で入社して以来「仕事をするからには社長になる覚悟で」という気持ちで常に挑戦を続けてきました。

当社においても多くの挑戦を重ね、日本で初めて中古車情報誌を創刊した会社からモビリティ領域のDXを中心に据えた会社へと進化し、今期で45周年を迎えます。

これからも、「データを未来の知恵に変え『夢と感動 楽しい！』で社会に貢献する」という経営理念のもと、株主・投資家の皆様から愛される企業であり続けられるよう尽力してまいります。

### 2022年3月期業績・指標

売上高	574億円	時価総額	462億円
営業利益	64億円	PER	9.97倍
ROE	15.4%	PBR	1.10倍

※2022年7月28日時点

## プロトコーポレーションの特徴



45

YEAR OF  
EXPERIENCE

### ① 中古車情報メディアのリーディングカンパニー

知名度の高いクルマ情報メディア「グーネット」を運営  
中古車販売店 取引店舗数シェアは約60%と業界トップクラス

### ② モビリティ領域のDXをトータルサポート

中古車・整備・新車領域を横断したDXの推進  
データ×AI技術で収益機会を拡大中

### ③ 新中期経営計画で高成長を目指す

※詳細は2022年3月期決算説明資料 参照

2025年3月期 目標

売上高 **1,250億円**、営業利益 **100億円**、ROE**12%**以上

2022年3月期 実績

売上高 574億円、営業利益 64億円、ROE15.4%

# 業績サマリ

(2023年3月期 第1四半期実績 & 2023年3月期 通期計画)

---

## 2023年3月期 第1四半期 エグゼクティブサマリ

### 売上高・営業利益ともに前年実績および今期計画を大きく上回る

(単位：百万円)	前期実績 2022年3月期 4月-6月	今期計画 2023年3月期 4月-6月	今期実績 2023年3月期 4月-6月
売上高	13,661	20,254	23,784 前期対比+74.1% 計画対比+17.4%
営業利益	1,780	1,641	2,082 前期対比+16.9% 計画対比+26.8%
経常利益	1,865	1,674	2,100 前期対比+12.6% 計画対比+25.4%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,281	1,121	1,398 前期対比▲38.7% 計画対比+24.7%

- 主要グループ各社において、売上高・営業利益ともに今期計画を上回った。
- 売上高は、プラットフォーム事業が前年に引き続き堅調に推移したこと、タイヤ・ホイール販売において円安・原材料高騰の影響を受けながらも販売価格への転嫁を進めたこと、新型コロナウイルスの感染状況が一旦落ち着いたことによるチケット需要の高まりなどにより前年実績および今期計画を大きく上回った。
- 営業利益は、主に増収に伴う売上総利益の増加により前年実績および今期計画を大きく上回った。
- 前年は株式会社プロトメディカルケアの株式売却益が発生（21.4億円）

## セグメント別PL 2023年3月期 第1四半期

(単位：百万円)		前期実績 2022年3月期 4月-6月	今期計画 2023年3月期 4月-6月	今期実績 2023年3月期 4月-6月	前期対比	計画対比
プラットフォーム	売上高	6,986	7,039	7,364	+378	+325
	営業利益	2,184	2,127	2,328	+143	+200
メディア	売上高	5,630	5,626	5,925	+294	+299
	営業利益	1,816	1,742	1,937	+121	+194
サービス	売上高	1,355	1,413	1,439	+84	+26
	営業利益	368	384	390	+22	+5
コマース	売上高	5,390	12,122	15,233	+9,842	+3,110
	営業利益	27	▲59	107	+80	+166
物品販売	売上高	5,390	5,751	6,544	+1,153	+793
	営業利益	27	▲38	79	+52	+118
チケット販売	売上高	-	6,371	8,688	+8,688	+2,317
	営業利益	-	▲20	28	+28	+48
その他	売上高	1,285	1,092	1,186	▲99	+94
	営業利益	164	98	123	▲41	+24
管理部門	-	▲596	▲524	▲477	+119	+47
合計	売上高	13,661	20,254	23,784	+10,122	+3,530
	営業利益	1,780	1,641	2,082	+301	+440

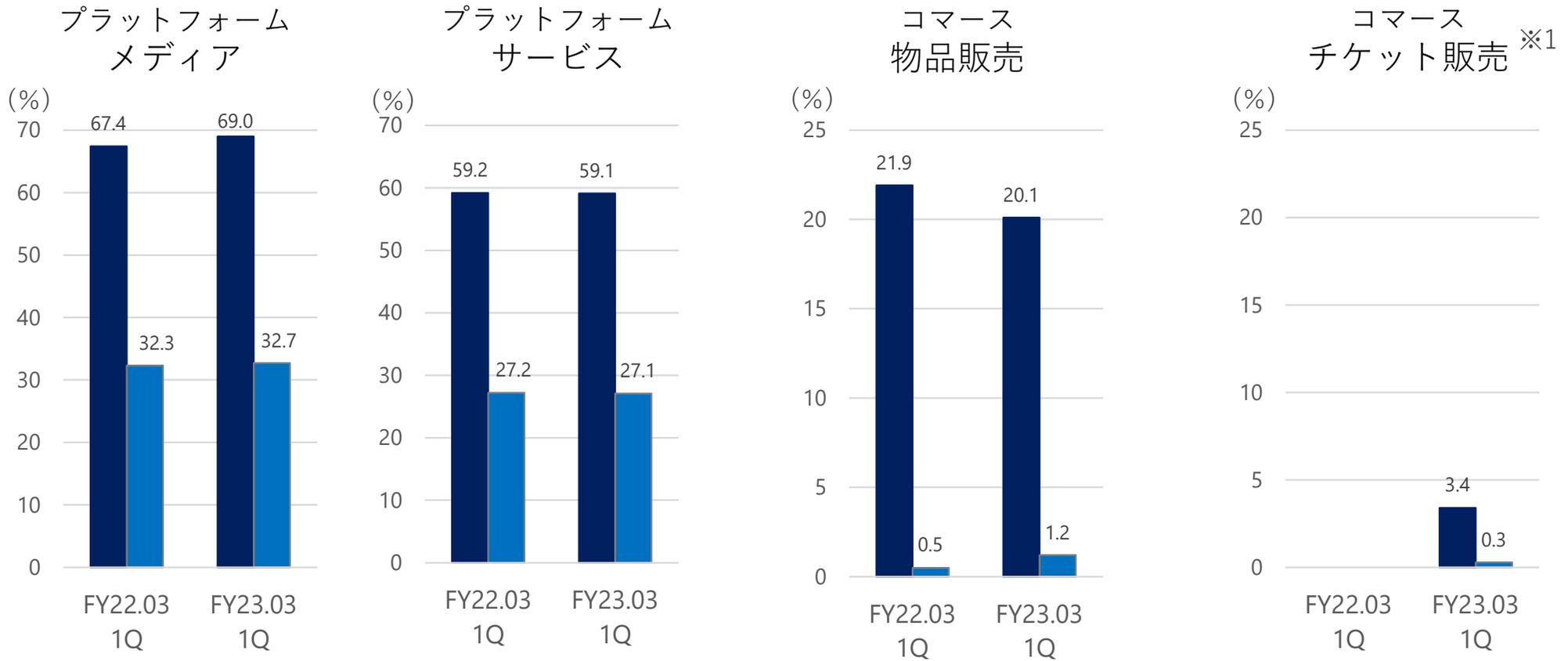
※その他セグメントにおける減収減益要因は、主に株式会社プロトメディカルケアの売却によるもの

# セグメント別 売上高総利益率、営業利益率の推移

売上高総利益率

営業利益率

## 各セグメントにおいて収益性の改善を推進



※1 チケット販売に該当するコスミック流通産業ならびにコスミックGCシステムについては今期よりグループ入り

## 2023年3月期 第1四半期 業績の概要

### プラットフォーム、コマースともに前年実績ならびに今期計画を大きく上回る

#### プラットフォーム

##### ① 中古車領域

ゲーネットを訪れるユーザー目線のDXプロダクトの拡販が寄与し、月額単価が向上。

##### ② 整備領域

MOTOR GATE PIT INの導入工場数が増加したこと等により、月額単価が大幅に向上。

##### ③ 新車領域

DataLine SalesGuideの導入拠点数が増加するとともに、月額単価も着実に向上。

#### コマース

##### ① 物品販売

円安と原材料高騰による影響はあるものの、販売価格への転嫁を進めたことにより売上高、営業利益ともに、前年実績ならびに今期計画を上回った。

##### ② チケット販売

新型コロナウイルスの感染状況が一旦落ち着き、行動制限が緩和された時期であったため、チケット販売が計画を上回るとともに、売上高総利益率の高い株主優待券等の仕入・販売を強化したことにより、売上高、営業利益ともに今期計画を大きく上回った。

## 2023年3月期 業績予想（2022年5月13日の発表より変更なし）

（単位：百万円）	前期実績 2022年3月期	今期計画 2023年3月期	今期実績 2023年3月期 4月-6月	2023年3月期について
売上高	57,446	85,681 前期対比+49.1%	23,784 進捗率27.8%	既存事業の成長に加えコスミックグループ*の連結子会社化（4月1日付）により大きく増収
営業利益	6,422	6,500 前期対比+1.2%	2,082 進捗率32.0%	高収益のDX商品拡販を推進しつつ、先行投資実施
経常利益	6,622	6,650 前期対比+0.4%	2,100 進捗率31.6%	2022年3月期はオートウェイにおいて為替差益が発生（2.4億円）
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,880	4,450 前期対比▲24.3%	1,398 進捗率31.4%	2022年3月期はプロトメディカルケアの株式売却益（21.4億円）が発生
設備投資	1,234	1,590 前期対比+28.8%	-	データプラットフォーム構築を推進
減価償却費	877	1,059 前期対比+20.7%	-	設備投資増による
EPS	146.34円	110.71円 前期対比▲24.3%	-	「親会社株主に帰属する当期純利益」を参照
1株当たり配当金	35円	35円	-	前期と同額の予定

\*コスミックグループ：コスミック流通産業及びコスミックGCシステム 10

## セグメント別PL 2023年3月期 業績予想 (2022年5月13日の発表より変更なし)

(単位：百万円)		2021年3月期 実績(a)	2022年3月期 実績(b)	2023年3月期 計画(c)	前期比 (c)-(b)	2023年3月期について
プラットフォーム	売上高	26,896	28,775	29,523	+748	主に収益性の高いDX商品の拡販推進
	営業利益	6,760	7,835	8,190	+354	営業利益率 27.7%
メディア	売上高	21,573	23,032	23,711	+678	モビリティ領域（中古車・整備）におけるDX商品の拡販推進
	営業利益	5,360	6,258	6,605	+347	営業利益率 27.9%
サービス	売上高	5,323	5,742	5,812	+69	モビリティ領域（新車）におけるデータサービス事業を強化
	営業利益	1,400	1,576	1,584	+7	営業利益率 27.3%
コマース	売上高	22,347	24,492	51,674	+27,181	主に取引先へのトータルサポートが目的のサービス
	営業利益	257	66	▲24	▲90	輸出アライアンス強化、ネット販売強化等で改善を図る
物品販売	売上高	22,347	24,492	25,034	+541	主にタイヤ・ホイール販売、中古車輸出
	営業利益	257	66	6	▲60	輸出アライアンス強化などにより改善を図る
チケット販売	売上高	—	—	26,640	+26,640	4月1日に株式取得したコスミックグループのサービス
	営業利益	—	—	▲30	▲30	当社のノウハウを生かしたネット販売強化で改善を図る
その他	売上高	6,544	4,178	4,483	+304	BPO事業、CVCによる投資事業等
	営業利益	565	437	387	▲50	各事業において事業成長・利益成長を図る
管理部	-	▲1,641	▲1,917	▲2,053	▲135	社内においてもDXを推進し、生産性向上に努める
合計	売上高	55,787	57,446	85,681	+28,234	-
	営業利益	5,941	6,422	6,500	+77	-

# 堅調なプラットフォーム事業

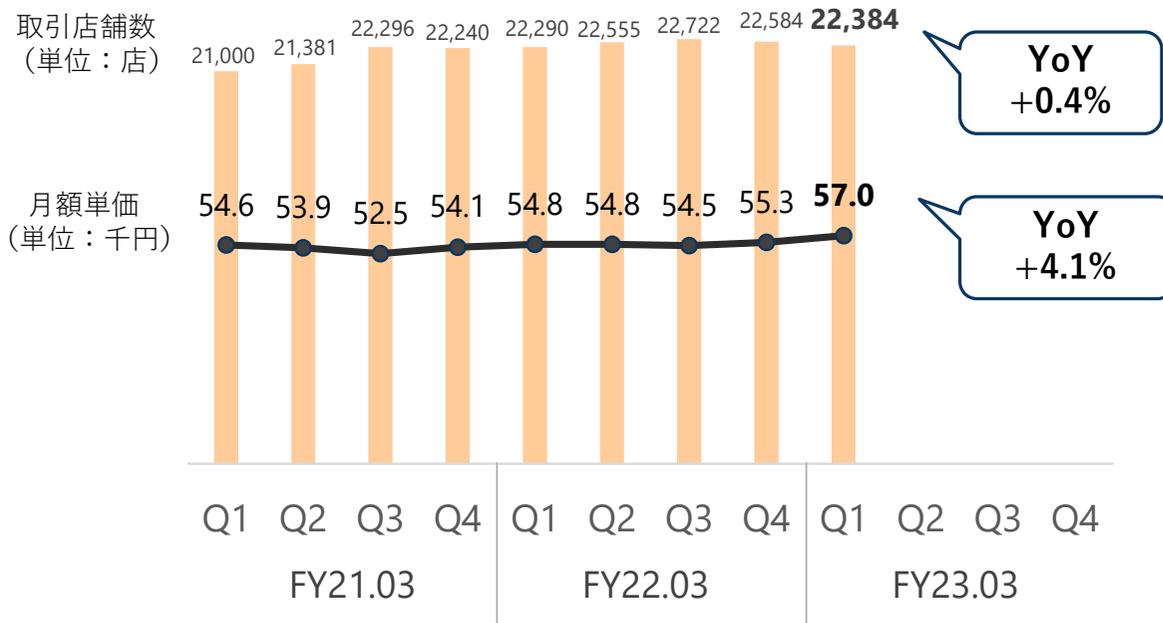
---

# プラットフォーム事業の概要について



# 中古車領域 **7-ネット** MOTOR GATE の取引店舗数と月額単価推移

ゲーネットを訪れるユーザー目線のDXプロダクト拡販が寄与し月額単価が向上。取引店舗数も安定的に推移。



取引店舗数\*1

22,384店舗  
(業界シェア57.9%)

月額単価

57.0千円

解約率

2.0%  
(12ヶ月平均)

MRR\*2

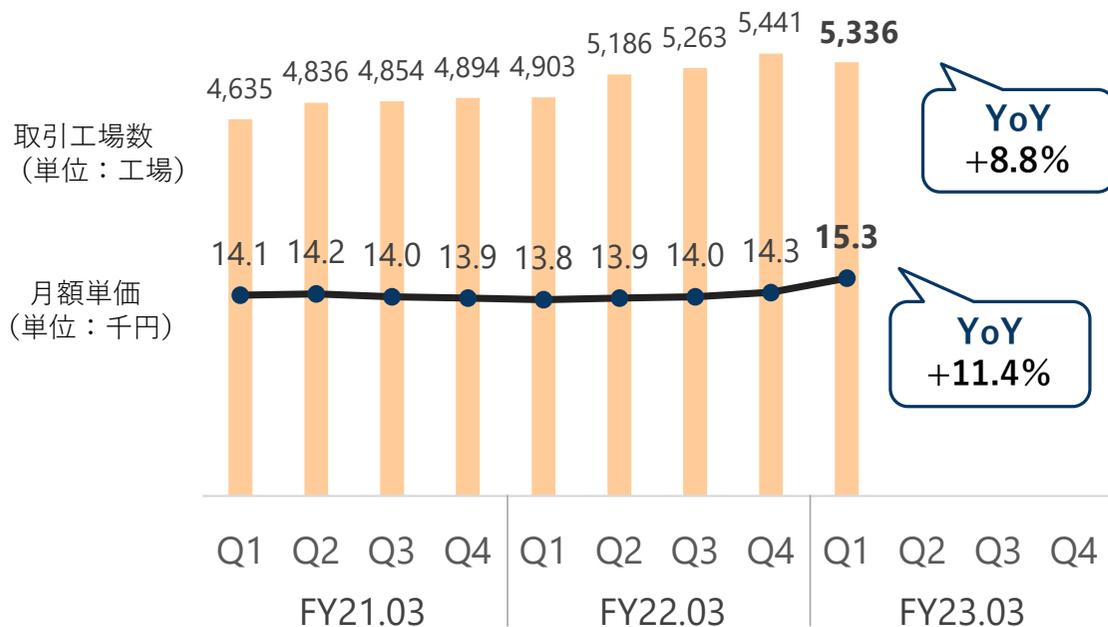
12.7億円  
(2022年6月)

\*1:対象マーケット38,651店舗

\*2:Monthly Recurring Revenueの略称です。対象月の月末時点における継続課金クライアント企業に係わる月額料金の合計額となっております。

# 整備領域 **ゲートピット** MOTOR GATE の取引工場数と月額単価推移

2022年2月にリリースした在庫管理システム「MOTOR GATE PIT IN」の導入工場数が増加したこと等により月額単価が大幅に向上。



**取引工場数 \*1**

5,336工場  
(業界シェア5.8%)

**月額単価**

15.3千円

**解約率**

1.3%  
(12ヶ月平均)

**MRR\*2**

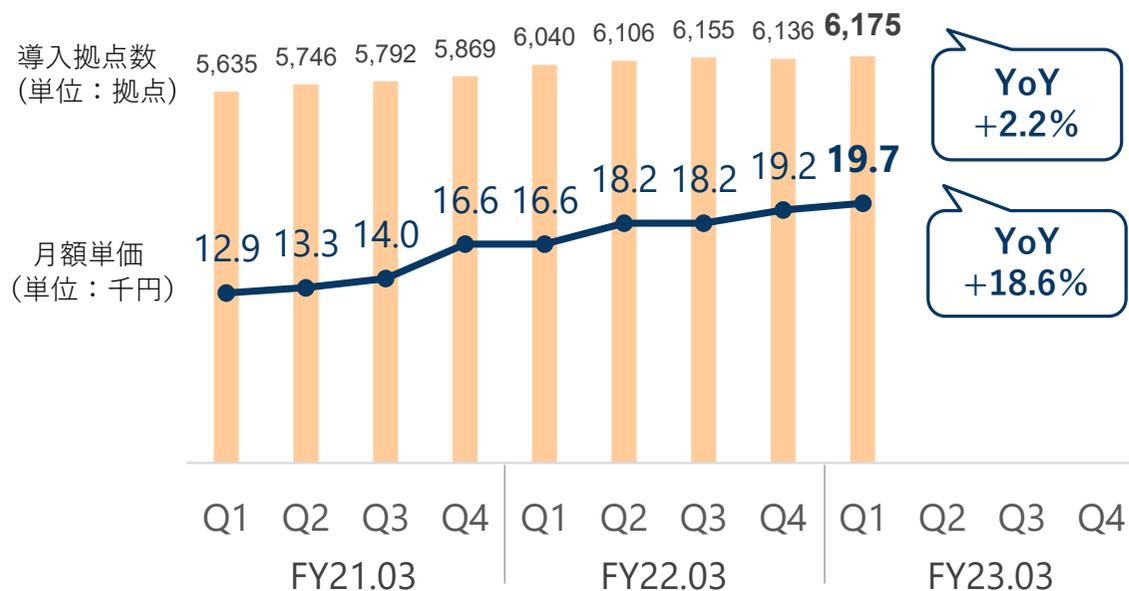
0.8億円  
(2022年6月)

\*1:対象マーケット 91,790工場

\*2:Monthly Recurring Revenueの略称です。対象月の月末時点における継続課金クライアント企業に係わる月額料金の合計額となっております。

# 新車領域 **DataLine SalesGuide** の取引拠点数と月額単価推移

販売店での営業オペレーションを支援するシステムのため  
市場環境の影響を受けづらく、着実に導入拠点数を伸ばす。



取引拠点数 \*1

6,175拠点  
(業界シェア43.1%)

月額単価

19.7千円

解約率

0.4%  
(12ヶ月平均)

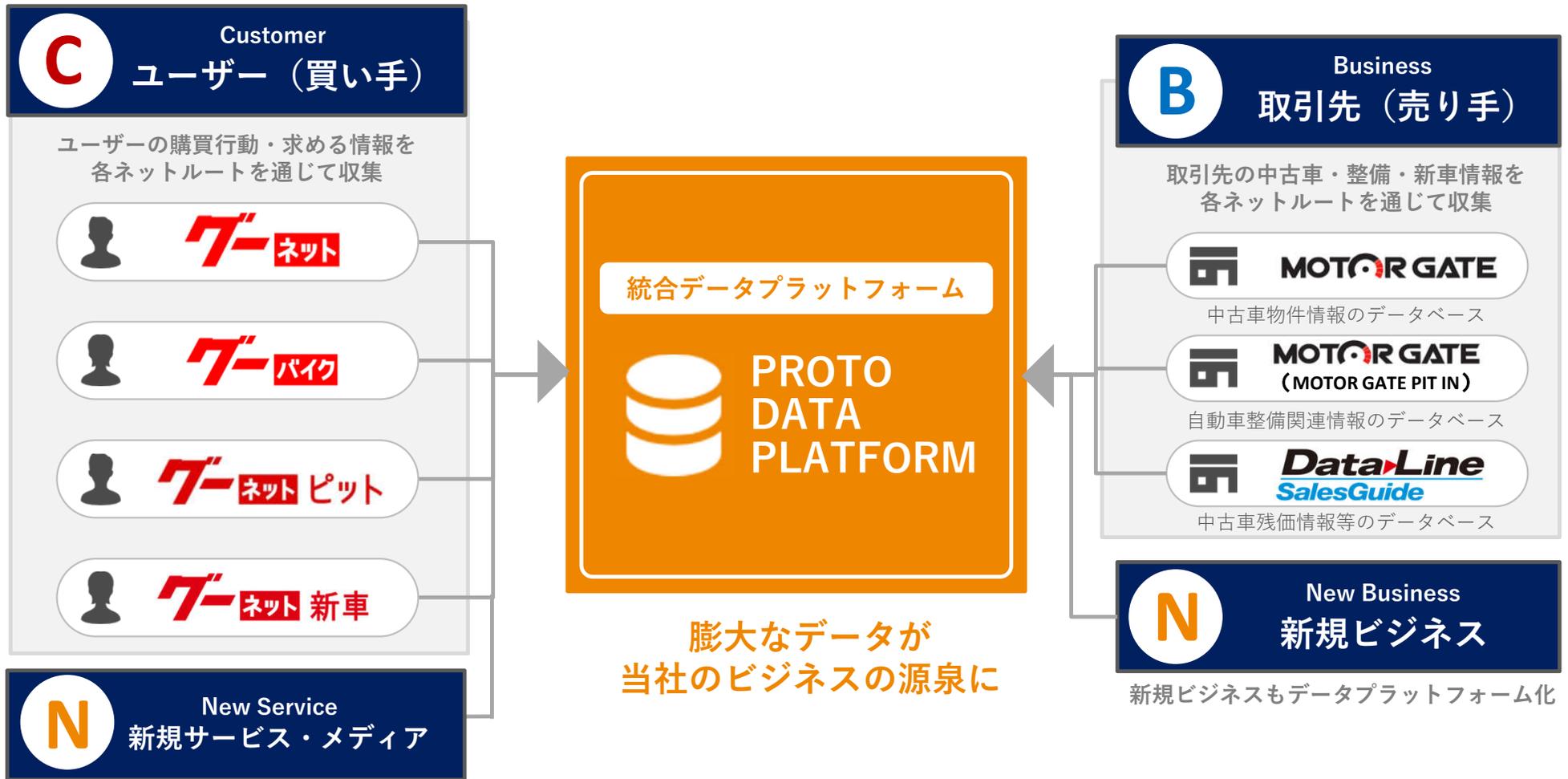
MRR \*2

1.2億円  
(2022年6月)

\*1:対象マーケット 14,300拠点

\*2:Monthly Recurring Revenueの略称です。対象月の月末時点における継続課金クライアント企業に係わる月額料金の合計額となっております。

# ① M&Aを含めたモビリティ領域のデータプラットフォーム構築



ユーザー、取引先から取得したデータを「データプラットフォーム」に統合

## ②データとAI技術を駆使した新商品・サービスの開発



引き続きモビリティ領域のDXに寄与するサービス開発を推進

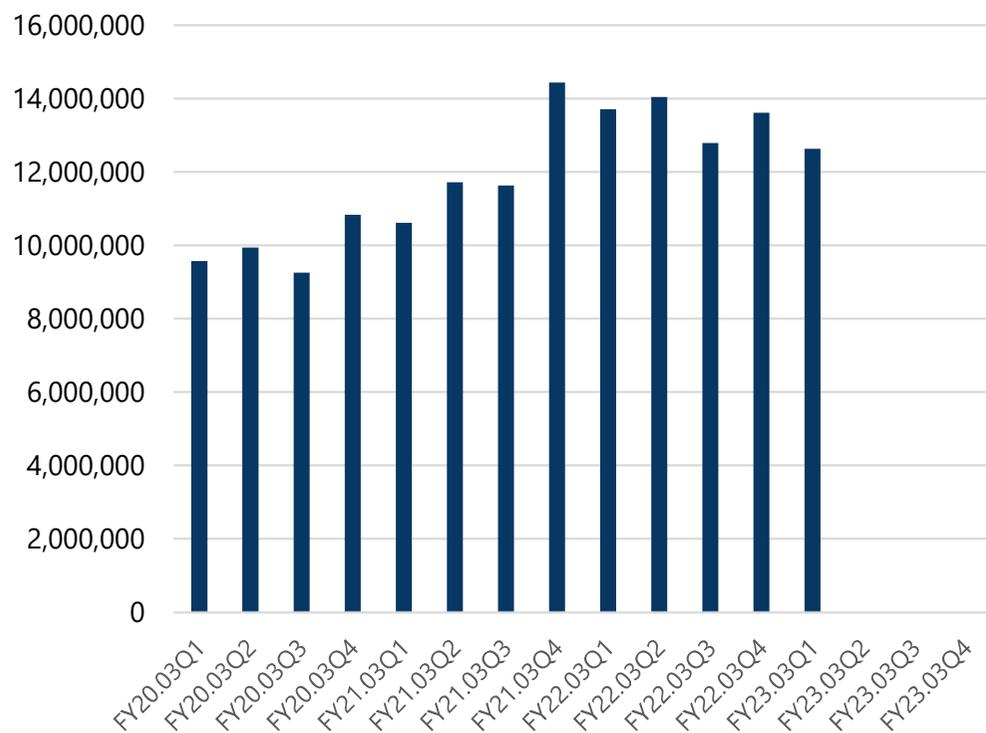
# Appendix

---

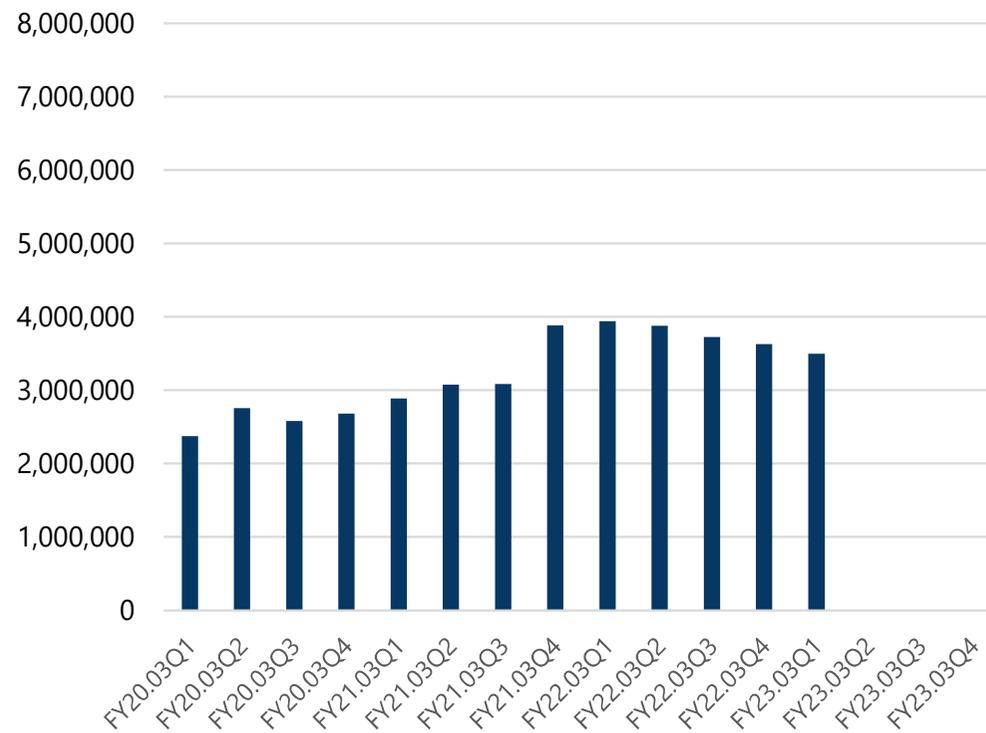
## ユニークユーザー数

### ゲーネット、ゲーネットピットのUUは堅調に推移

ゲーネット UU/3ヶ月平均

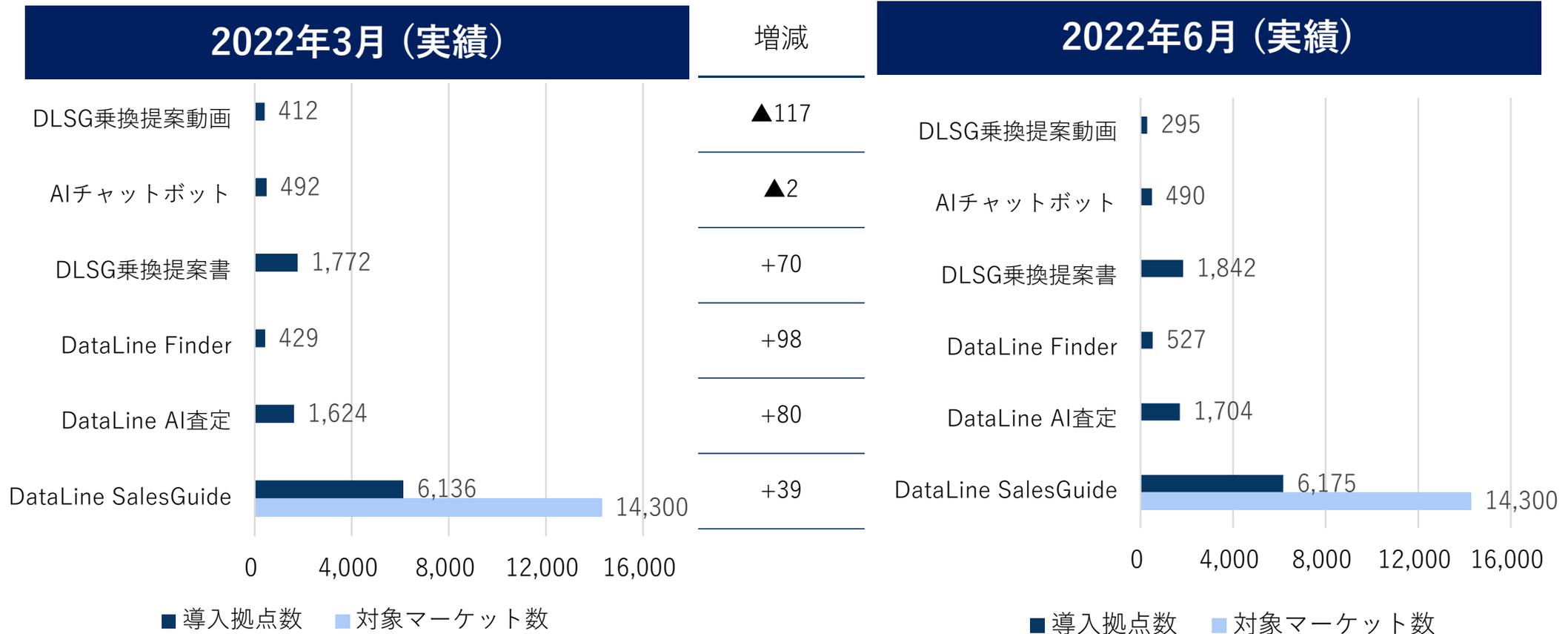


ゲーネットピット UU/3ヶ月平均



# 新車領域オプションサービス 導入拠点数推移

DX商品の開発及び導入拠点数拡大を推進し、  
新車領域における絶対的ポジションの確立を図る



## 2023年3月期 第1四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2022年3月期 期末		2023年3月期 第1四半期末		増減	
	実績(a)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
流動資産	37,635	69.0%	37,636	67.9%	1	100.0%
固定資産	16,890	31.0%	17,784	32.1%	894	105.3%
流動負債	13,035	23.9%	13,489	24.3%	454	103.5%
固定負債	1,093	2.0%	1,213	2.2%	120	111.0%
純資産	40,397	74.1%	40,718	73.5%	321	100.8%
総資産	54,525	100.0%	55,421	100.0%	895	101.6%

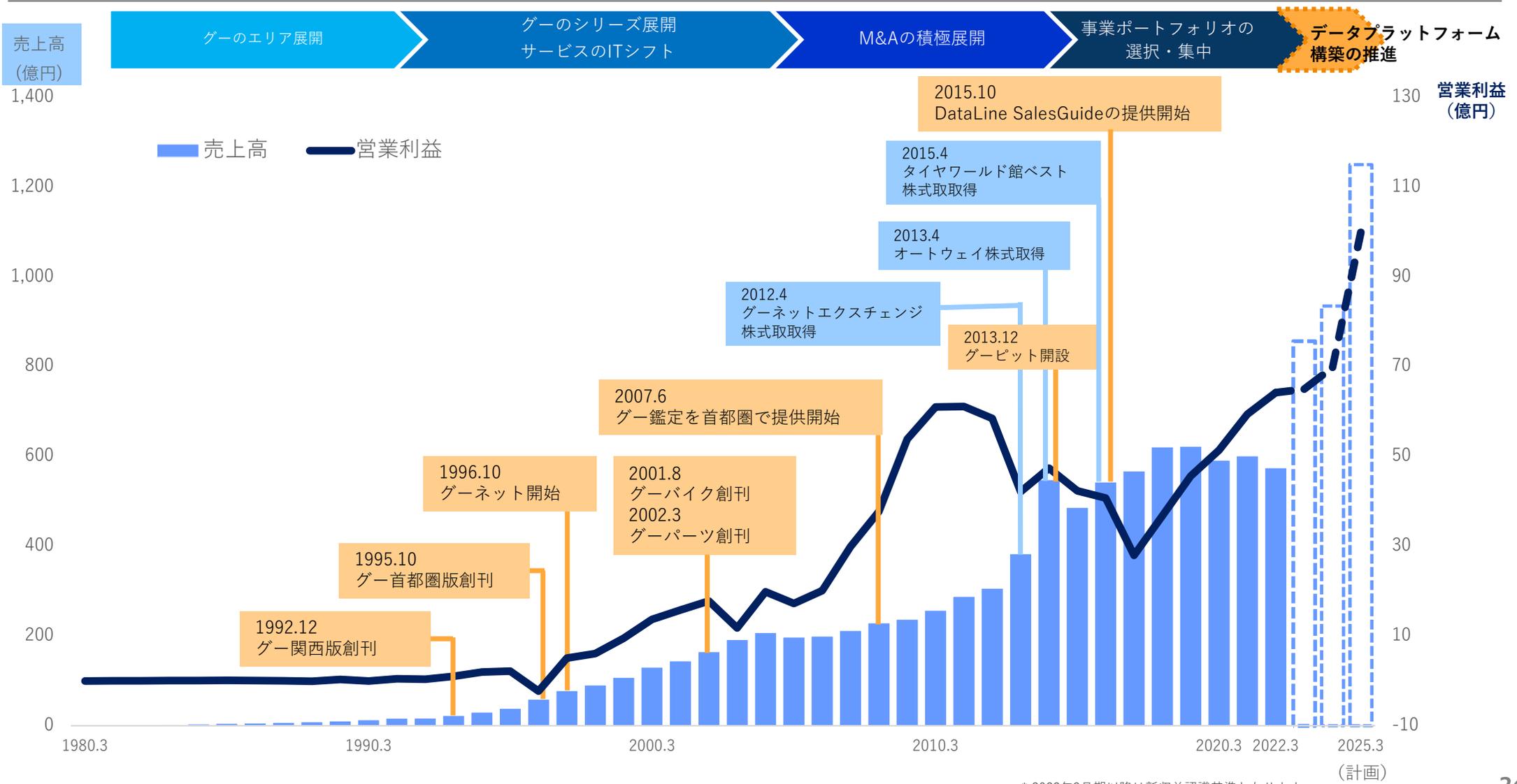
(単位：百万円)	2022年3月期 期末		2023年3月期 第1四半期末		増減	
	実績(a)	構成比	実績(b)	構成比	(b)-(a)	%
現金及び預金	26,159	48.0%	23,014	41.5%	▲3,145	88.0%
有利子負債	3,257	6.0%	4,478	8.1%	1,221	137.5%
ネットキャッシュ	22,902	42.0%	18,536	33.4%	▲4,366	80.9%

## 2023年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲74	▲764	▲689
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,485	▲1,299	▲3,784
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲601	▲1,075	▲474
現金及び現金同等物の期末残高	23,298	22,781	▲516

(単位：百万円)	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減
	実績(a)	実績(b)	(b)-(a)
投資額（有形・無形固定資産）	314	200	▲113
減価償却費	218	226	8
のれん償却額	97	106	9

# 売上高・営業利益の推移



# 会社概要

社名	株式会社プロトコーポレーション																					
創業	1977年10月1日																					
設立	1979年6月1日																					
資本金	1,849百万円（2022年3月31日現在）																					
発行済株式総数	41,925,300株（2022年3月31日現在）																					
本社	〒460-0006 名古屋市中区葵一丁目23番14号 〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目18番1号																					
支社	札幌、仙台、高崎、長野、浜松、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、熊本（全国35拠点）																					
事業年度末	3月31日																					
社員数	連結：1,302名（2022年3月31日現在） 単体：534名（2022年3月31日現在）																					
上場取引所	東京証券取引所プライム市場、名古屋証券取引所プレミア市場																					
連結子会社	<table><tr><td>1. 株式会社オートウェイ</td><td>11. 株式会社プロトベンチャーズ</td></tr><tr><td>2. 株式会社タイヤワールド館ベスト</td><td>12. プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合</td></tr><tr><td>3. 株式会社ゲーネットエクスチェンジ</td><td>13. コスミック流通産業株式会社</td></tr><tr><td>4. 株式会社プロトリオス</td><td>14. コスミックGCシステム株式会社</td></tr><tr><td>5. 株式会社カークレド</td><td>15. 沖縄バスケットボール株式会社</td></tr><tr><td>6. 株式会社カーブリックス</td><td>16. 沖縄アリーナ株式会社</td></tr><tr><td>7. 株式会社プロトソリューション</td><td>17. 沖縄スポーツアカデミー株式会社</td></tr><tr><td>8. 株式会社沖縄コールスタッフサービス</td><td>18. CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd.</td></tr><tr><td>9. 株式会社アソシエ</td><td>19. 株式会社UB Datatech（持分法適用関連会社）</td></tr><tr><td>10. 株式会社オニオン</td><td></td></tr></table>		1. 株式会社オートウェイ	11. 株式会社プロトベンチャーズ	2. 株式会社タイヤワールド館ベスト	12. プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合	3. 株式会社ゲーネットエクスチェンジ	13. コスミック流通産業株式会社	4. 株式会社プロトリオス	14. コスミックGCシステム株式会社	5. 株式会社カークレド	15. 沖縄バスケットボール株式会社	6. 株式会社カーブリックス	16. 沖縄アリーナ株式会社	7. 株式会社プロトソリューション	17. 沖縄スポーツアカデミー株式会社	8. 株式会社沖縄コールスタッフサービス	18. CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd.	9. 株式会社アソシエ	19. 株式会社UB Datatech（持分法適用関連会社）	10. 株式会社オニオン	
1. 株式会社オートウェイ	11. 株式会社プロトベンチャーズ																					
2. 株式会社タイヤワールド館ベスト	12. プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合																					
3. 株式会社ゲーネットエクスチェンジ	13. コスミック流通産業株式会社																					
4. 株式会社プロトリオス	14. コスミックGCシステム株式会社																					
5. 株式会社カークレド	15. 沖縄バスケットボール株式会社																					
6. 株式会社カーブリックス	16. 沖縄アリーナ株式会社																					
7. 株式会社プロトソリューション	17. 沖縄スポーツアカデミー株式会社																					
8. 株式会社沖縄コールスタッフサービス	18. CAR CREDO (Thailand) Co., Ltd.																					
9. 株式会社アソシエ	19. 株式会社UB Datatech（持分法適用関連会社）																					
10. 株式会社オニオン																						

（2022年7月29日現在）

## セグメントの変更について

### 旧セグメント

セグメント	サブセグメント
自動車関連情報	広告関連
	情報・サービス
	物品販売
生活関連情報	-
不動産	-
その他	-



### 新セグメント

セグメント	サブセグメント
プラットフォーム	メディア
	サービス
コマース	物品販売
	チケット販売
その他	-

主力の自動車関連情報をプラットフォーム（メディア、サービス）とコマース（物品販売）に独立させ、新規に加わったチケット販売をコマースにサブセグメント化することで、現状の組織体制を的確に反映し、より明確で分かりやすいセグメント区分に変更

## 主要グループ会社別の内訳

セグメント	サブセグメント	詳細
プラットフォーム	メディア	プロトコーポレーション（メディア：中古車・整備・二輪） プロトソリューション（メディア） カークレド（鑑定事業） ゲーネットエクスチェンジ（アライアンス）
	サービス	プロトコーポレーション（新車） プロトリオス（ソフトウェア販売）
コマース	-	オートウェイ（タイヤ・ホイール販売） タイヤワールド館ベスト（タイヤ・ホイール販売） ゲーネットエクスチェンジ（中古車輸出） プロトコーポレーション（物品販売） プロトソリューション（物品販売） コスミック流通産業・コスミックGCシステム（チケット販売）
その他	-	プロトコーポレーション（農業、不動産、その他） プロトソリューション（BPO） プロトベンチャーズ・プロトベンチャーズ2号投資事業有限責任組合（投資） オートウェイ（太陽光発電） 沖縄バスケットボール（バスケットボールチームの運営）

## 将来予測について

---

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があります。ご承知おきください。

## 本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

---

株式会社プロトコーポレーション 経理財務部 IR 森

Tel : 052-934-1514

Mail: 4298ir@proto-g.co.jp